

主体的な学びを促す 道徳の時間について

尾道市立美木中学校

尾道市立美木中学校



郷土に誇りを持ち、
知・徳・体を磨き続け、
グローバル社会を生き抜く生徒の育成



研究主題

ところを拓く
— 自らの心を拓き信頼・協力し合える生徒の育成 —

主体的な学びをどうとらえるか。

- 学力の三要素（現行学習指導要領）
- 道徳の時間における主体的な学び 赤堀教科調査官
- 広島版「学びの変革」アクション・プラン

学力の三要素から（現行の学習指導要領）

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- (2) これらを活用して課題解決を図るために必要な思考力・判断力・表現力等の育成
- (3) 主体的に学習に取り組む態度の育成



見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動の重視

道徳の時間における主体的な学び

赤堀教科調査官

子どもがねらいとする道徳的価値に関わる諸事象を自分との関わりで考える学習

主体的な学びの具体

ア 道徳的価値を理解する



価値理解
人間理解
他者理解

イ 自分との関わりで考える



自己理解を深める

ウ 現在の自分自身の在り方を自覚する

広島版「学びの変革」アクション・プラン

主体的な学び

- ア 受動的な学び → 能動的な学び
- イ 教師基点の学び → 学習者基点の学び
- ウ 浅い学び → 深い学び

「主体的な学び」で目指す生徒の姿

- ・自分との関わりで捉え、切実感をもって学習している。
- ・意欲的で主体的に取り組むことができる表現活動や話し合い活動になっている。
- ・学んだ道徳的価値に照らして、自らの生活や考えを見つめている。
- ・道徳的価値を実現するための課題や目標、道徳性を養うことよさや意義について考えている。

美木中学校がとらえる

「道徳の時間における主体的な学び」

道徳の時間のはじめに、まず自らの価値を自覚する必要がある。

集団的思考を生かして他者と討論を行う

授業後の自分を深く見つめる

美木中学校の道徳の時間での工夫

具体的な工夫

ア 道徳の時間のはじめに、まず自らの価値を自覚する



- ・導入段階で、価値の明確化の手法を用いて、自らの価値を自覚させる。

イ 集団的思考を生かして他者と討論を行う



- ・多様な学習方法を用いて、討論を活性化させる。

ウ 授業後の自分を深く見つめる



- ・導入と関連付けた振り返りを行う。

美木中学校の道徳の時間での取り組み

実際の取り組み 工夫 ア ウ

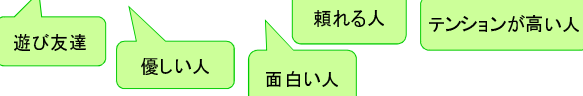
- ・学年 2学年
- ・主題名 高めあう友情
- ・内容項目 2ー(3)
- ・ねらい 友情の尊さを理解し、互いに励ましあい高め友情を育てていこうとする道徳的実践意欲を高める。
- ・資料 「本当の友人とは」

美木中学校の道徳の時間での取り組み

工夫 ア 導入段階で、価値の明確化の手法を用いて、自らの価値を自覚させる。

- ・「あなたの親友と思う人を3名以上書きましょう。」

- ・「その親友の名前を見て、どんな関係の友達か共通することをノートに書きましょう。」



美木中学校の道徳の時間での取り組み

工夫 ウ 導入と関連付けた振り返りを行う。

新しい友達観
改善・見直しの
意欲

どんな友達がつくりたいか？

- いけないことを、ちゃんと素直に言ってくれる友達
- 互いのことを思って、なんでも言い合える友達

どんな関係にしたいか？

- 何でも指摘し合える友達になりたいと思う
- 今の友達関係を、お互いに思いやり嫌なことがあっても伝えあえるような関係にしていきたいです。

美木中学校の道徳の時間での取り組み

工夫 イ 多様な学習方法を用いて、討論を活性化させる。



初発の感想を単語一つで現し、それを説明させる。

美木中学校の道徳の時間での取り組み

実際の取り組み 工夫イ

- ・学年 1学年
- ・主題名 善意や支えへの感謝
- ・内容項目 2-(6)
- ・ねらい 感謝の心は他者への厚情に触れた時の自然な感情であることに気づき、その気持ちを素直に表そうとする道徳的態度を育成する。
- ・資料 「人のフリみて」 みつはしちかこ

美木中学校の道徳の時間での取り組み

一般的な発問

「バスの中でのやりとりに、あなたはどんな印象を持ちましたか。」



「バスの中でのやり取りを色で表すと、何色ですか。」



「なぜその色にしましたか。その理由を詳しく説明してください。」

今後に向けて

- 自らの価値の自覚をさせ、課題意識を持たせる工夫
- 導入と結びついた振り返り
- 中心発問の場面で、自分との関わりの中で価値を深めるための、多様な学習方法の発掘と開発